

脚本・出演

中西和久



コンサートドラマ

ピアノのはなし

ピアノ演奏 佐々木 洋子

原 話 上野 歌子
原 作 毛利 恒之

(九州朝日放送ラジオドキュメンタリー
「ピアノは知っている」あの遠い夏の日より)

演 出 栗谷川 洋
照 明 坂本 義美
方言指導 高尾 平良
協力 知覧特攻平和会館
制作 月島 文乃

「ぼくたちは、明日沖縄へ向かって飛び立ちます。
先生、死ぬ前に一度だけ、おもいっきりピアノを弾かせてください…。」

The story of a PIANO

茨木市文化振興財団第183回公演

2015 7.11 (土) 15:00

茨木クリエイトセンター
センターホール

伝統／前衛／地域
20th
since 1996

■主催／公益財団法人茨木市文化振興財団
■後援／茨木商工会議所 茨木市観光協会

京楽座

ぼくらの名前を覚えてほしい 中西和久 脚本・出演

「戦争を知らない子どもたち」という歌が流行ったのは、僕が高校生の頃でした。僕らは「受験戦争」や「交通戦争」は経験していますが本物の戦争は未経験です。

「戦争を知らないおじさん」「戦争を知らないおじいさん」としてそのまま、オサラバしたいものです。しかし、知らなくても記憶はしておこうと思っ

ています。知覧の特攻平和会館に行って、特攻兵出撃前の遺書の数々を読ませていただきました。その行間から迫ってくるのは、「俺が生きていたということ

を忘れないでくれ」という若者たちのつましいほどの願いでした。辛いことや悲しいことは、さりと忘れて今日を生きてることがひとつの知

恵なのかもしれません。そのうちにその辛いことや悲しい事は風化して、何事もなかったような日常になるのかもしれませんが、そして、また同じ歴史を

刻むのかもしれない。

「戦争を知らないおじさん」にできる事は、記憶を風化させないこと。記憶を呼び戻し明日につないでゆくこと。戦争を知らない僕たちもいずれこの

世から消えていくのだけれど、記憶さえしっかりしていれば今の「戦争を知らない子どもたち」が「戦争を知ってる子どもたち」にならずにすみます。

「コンサートでもある劇 ふじたあさや(劇作家・演出家)

中西の新作「ピアノのはなし」は、不思議な作品である。ドラマかといえはそうもいえず、コンサートかといえはそ

うもいえない、ドラマでもあるしコンサートでもある、ドラマであることよってコンサートになり、コンサートであることよってドラマが成立するという、先例のない新

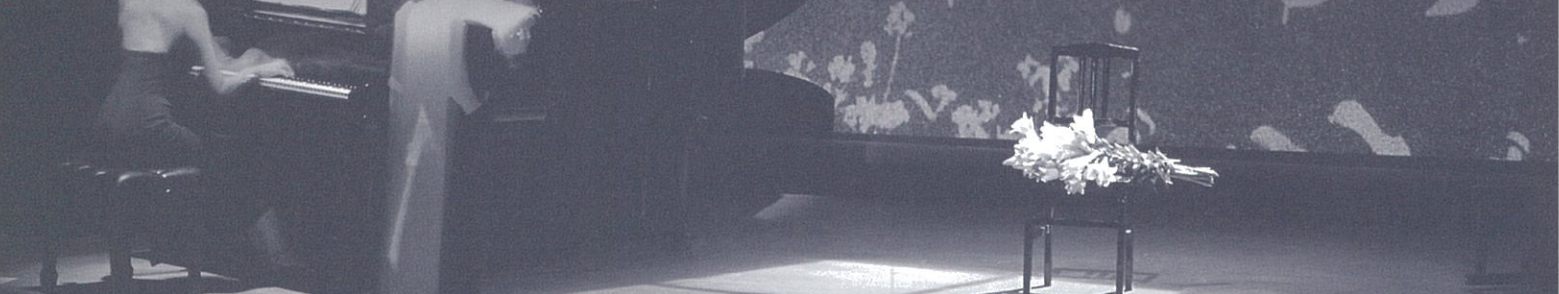
ジャンルである。物語は、映画「月光の夏」でおなじみの、のちに劇団東

演の舞台でも紹介された、特攻攻撃を前にした音楽学校出身の飛行兵が、小学校のピアノで「月光の曲」を弾かせて

もらい、飛び立って行ったという実話だが、中西がこれを脚本化したのは、映画に先立つ1992年のことだった

中西は、また財産を増やした。

君の緻密な演出が、中西の芸を支えてくれている。栗谷川



1945年5月、佐賀県鳥栖の小学校に二人の特攻隊の青年たちが訪れました。明日、沖縄の海に飛び立つ前にどうしてもピアノが弾きたいと、青年は朝からずっとピアノのある学校を探しまわっていたのです。さっそく校長の許可を得ると、音楽担当のおなご先生は「月光の曲」の楽譜をそと手渡しました……。

中西 和久 (脚本・出演)

劇団「芸能座」で俳優修業。初舞台は1977年「浅草キヨシ伝」(作/井上ひさし・演出/小沢昭一)の川端康成役。'86年より自作のひとり芝居「火の玉のはなし」(原作/組坂繁之)をもって全国行脚を始める。「しのだづま考」(作・演出/ふじたあさや)の演技で'91年度文化庁芸術祭賞を受賞。同作品で、国際交流基金主催公演として韓国主要都市を巡演、東欧2ヶ国の国際演劇祭へ招待参加、'98年には新国立劇場開場記念賛助公演を務める。八戸市民劇場賞特別賞、倉林誠一郎記念賞。2008年ロシア・エカテリンブルグ国際演劇祭特別賞などを受賞。同年「しのだづま考」モスクワ芸術座公演で絶賛を博す。NHKBSプレミアム「心はものに狂わねど〜中西和久経節ひとり芝居」、NHKBSハイビジョン特集「作兵衛さんの炭鉱」。KBCラジオ「中西和久ひと日記」。



佐々木 洋子 (ピアノ演奏)

桐朋学園大学音楽学部演奏科ピアノ専攻卒業。第40回、第41回全日本学生音楽コンクール西部大会高校の部各第2位受賞。'88年サントリーホールにて「サマースペシャルシヨパンピアノ全曲集」演奏会出演。'92年第11回飯塚新人音楽コンクールにて優秀賞受賞。'96年ルー・マニア国立デュ・リパッティ交響楽団と共演。'98年より地元大牟田にてソロ・コンサートを開催。'04年NY国際ピアノフェスティバルのマスタークラスに参加。'05年より定期的な室内楽の演奏会を開催。これまでに日本フィルハーモニー・ソロ・コンサートマスター木野雅之氏をはじめさまざまな演奏家との共演を重ねている。後進の指導にあたりながら、デュオや室内楽をはじめクラシックにとどまらない幅広い音楽活動を日本各地で展開する。



2015年7月11日(土) 15:00開演 (14:30開場) 上演予定時間90分

茨木市市民総合センター クリエイトセンター・センターホール

4月11日(土) 9:00予約開始

[全席指定] (1階席先行販売) 一般3,000円/65歳以上、障害者及びその介助者2,500円/青少年[24歳以下]1,000円

財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。残席がある場合は翌日から窓口販売いたします。

◎茨木市観光協会、茨木市勤労者互助会、OSAKAメセナカード各会員は10%引き。*各会員割引の取り扱いには財団のみです。*就学前のお子様はご遠慮ください。

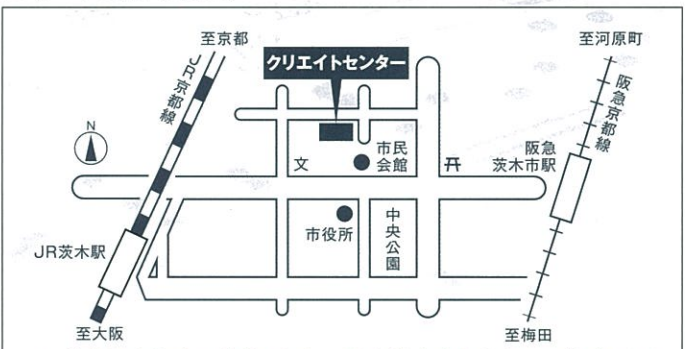
■チケットのお申込み・お問合せ 茨木市文化振興財団・文化事業係 072-625-3055 (茨木市市民会館1階9:00~17:00) インターネットチケット www.ibabun.jp



財団の発売初日はインターネット・電話予約のみです。予約後は1週間以内に下記のチケットカウンターでご精算ください。

- チケットの引取り・窓口販売は発売翌日からです。◎市民会館チケットカウンター (9:00~17:00) ◎クリエイトセンターチケットカウンター (9:00~17:00) *予約チケットの郵送をご希望の場合は、(チケット料金+郵送料400円)を郵便局備え付けの「払込取扱票」でお支払いください。手数料はご負担願います。払込確認後の発送となります。(払込口座) 00970-7-190576/加入者名:茨木市文化振興財団

- その他プレイガイド (初日店頭販売あり 10:00~) ローソンチケット 0570-000-407 (オペレーター対応) Lコード予約 0570-084-005 (Lコード57352) *ローソンチケットの取り扱いチケットはローソン、ミニストップ各店舗で直接購入できます。チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード442-522) *チケットぴあ取り扱いチケットはサンクス、サークルK、セブンイレブンを各店舗で直接購入できます。



クリエイトセンター/茨木市駅前四丁目6番16号 ☎072-624-1726